

等々力キャンパス

国内外の世界遺産を探訪し、楽しみながら、文化を、歴史を体感する。

世界遺産研究会



顧問：岩村 和夫(都市生活学科教授)
 学生責任者：佐藤 良純(都市生活学科2年)
 部員数：32名(うち女子会員16名)

主な活動

- 4月 新入生歓迎会
- 5月 研究会
- 6月 鎌倉遠足 / 研究会
- 7月 世界遺産検定受検 / 研究会
- 8月 夏期合宿(国内)
- 9月 国内遠征(予定) / 夏期海外遠征
- 10月 TCU桐華祭参加 / 研究会
- 11月 世界遺産検定受検 / 京都、奈良遠征
- 12月 クリスマスパティー
- 2月 春期海外遠征
- 3月 春期合宿(国内)

世界遺産の素晴らしさを知るために まずは知識を蓄積することが大切

本学が東京都市大学と改称し、都市生活学部と人間科学部が等々力キャンパスに誕生した2009年。世界遺産研究会もこの新しいキャンパスで新生の名乗りをあげました。創設メンバーで、学生代表の佐藤良純君(都市生活2年)は都市生活学部都市生活学科の第1期生。「入学式で仲良くなった7人ほどの仲間、楽しみながら勉強し、将来の役にも立つようなサークルを作りたいね、という話になり、ちょうど目にした世界遺産検定のパンフレットに、『コレだ!』と(笑)」

環境分野の権威、岩村和夫教授を顧問に戴いて、登録会員数の規定をクリア。大学への愛好会設立申請を6月に提出し、7月にサークルは正式発足しました。

活動の主眼は、「実際に世界遺産を訪ねて、その素晴らしさ、歴史や文化の奥深さを体感すること」と佐藤君。そのためには、まず世界遺産とは何かを知り、各地の遺産についてのきちんとした知識を獲得しなければなりません。そこで、佐藤君らは毎週1回、等々力キャンパスの1教室で、2時間半ほどの研究会を行うことに。

「研究会というより、学習会。年に2回行われる世界遺産検定の合格に向けて、目的意識を持って取り組むことにしました」と語る佐藤君自身、マイスター、1級、2級、3級まである検定の、すでに2級をパスしています。

その間、09年9月には栃木県日光市で初の夏合宿も開催。ユネスコ世界遺産委員会で文化遺産に登録された日光の社寺を見学し、メンバーの親睦を深めるとともに、“本物”から放たれる存在感を肌身で感じました。



検定合格に向け研究会を実施

翌年2月、「念願の海外遠征へ。サークルの公式活動としてでなく、有志4人の旅行という形式でしたが、イタリアのローマ、フィレンツェ、ベネチアを訪ね、世界遺産の醍醐味を満喫してきました」

こうしておよそ1年間。佐藤君をはじめ創設メンバーが中心となって運営してきた世界遺産研究会に、2010年4月、新1年生が加入することになりました。

サークルとして初の海外遠征を予定。 メンバー全員が主体的な意思を持って活動する

積極的な勧誘の甲斐あって、会員数は一気に32名に。引き続き検定合格を視野に入れた研究会を開催しながら、6月には、どのような経緯で世界遺産となるのかを知ることも大切と、認定を目指す鎌倉市役所に赴いて担当者から話を聞き、併せて古都鎌倉の散策を楽しむ遠足を実施しています。そして7月、1年生の